

English translation of the abstract of the Cited Invention 1 (JP H05-054247)

(13) Kind of Document: U (Published Utility Model Application)

(21) Application No.: 1991-113175 (1991. 12. 26)

(11) Publication No.: 1993-054247 (1993. 7. 20)

(71) Applicant: Japan Tobacco Inc.

(54) [Title of the Utility Model] Package with Hinged Lid

(57) Abstract

[PROBLEM TO BE SOLVED] The present invention is to provide a package with a hinged lid which can obtain enough airtightness with smooth operation of opening and closing.

[SOLUTION] A package with a hinged lid 10 includes an inner frame 42 and has a package body 12 and a hinged lid 14. The body 12 and the lid 14 are connected by a folding line 40 which is a rotating point when the lid 14 opens. The frame 42 has a projecting region from the body 12 and the lid 14 rotates around the folding line 40 along the projecting region. The lid 14 which is folded to the frame 42 has a pressing part 52 which can maintain airtightness between the body 12 and the lid 14. The pressing part 42 is formed as it increases a repulsive force toward the frame 42 as the angle of rotation defined between the body 12 and the lid 14 decreases.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-54247

(43)公開日 平成5年(1993)7月20日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 5/66

識別記号

3 0 1 C 7445-3E

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 4 頁)

(21)出願番号 実開平3-113175

(22)出願日 平成3年(1991)12月26日

(71)出願人 000004569

日本たばこ産業株式会社

東京都品川区東品川4丁目12番62号

(72)考案者 小林 一隆

東京都品川区東品川4丁目12番62号 日本

たばこ産業株式会社内

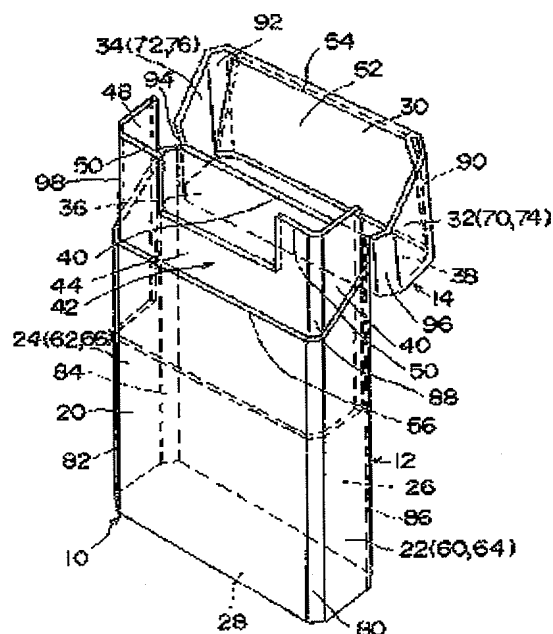
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【考案の名称】 ヒンジ蓋付パッケージ

(57)【要約】

【目的】この考案の目的は、開閉動作がスムーズで、十分な気密性及び密着力が得られるヒンジ蓋付パッケージを提供するものである。

【構成】ヒンジ蓋付パッケージ10は、インナーフレーム42を含む、パッケージ本体12とヒンジ蓋14とを有している。上記本体12と上記蓋14とは、上記蓋14が開閉される場合の回動支点としての新曲げ線40によって連結されている。上記フレーム42は、上記本体12よりも突出された領域を有し、この突出された領域に沿いつつ上記新曲げ線40を中心として上記蓋14が回動される。上記蓋14は、上記フレーム42と摺擦されることで、上記本体12と上記蓋14との密着性及び気密性を良好な状態で維持させることのできる押圧部52を有している。この押圧部52は、上記蓋14と上記本体12との間に規定される回動角が小さくなるにつれて、上記フレーム42に向かって発生される反発力を増大するよう形成されている。



(2)

実開平5-54247

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】バック本体と、

このバック本体に内挿されるとともに、自身の一部が上記バック本体から突出するよう形成され、上記バック本体に収容される内容物を保護するインナーフレームと、上記バック本体の一部を共有するとともに、この共有部に規定される折曲げ線を回動支点として回動可能に形成され、この回動動作によって、上記インナーフレームを覆うことで上記バック本体を密閉し、或いは、上記インナーフレームから離脱されることで上記バック本体から開放されるヒンジ蓋であって、このヒンジ蓋の内側面、且つ、上記インナーフレームとの摺擦面に、上記回動動作によって規定される回動角が小さくなるにつれて上記インナーフレームとの接触面積が増大するよう形成されている押圧部材を有するヒンジ蓋と、を含むヒンジ蓋付パッケージ。

【請求項2】上記押圧部材は、前記ヒンジ蓋が前記インナーフレームを覆った際に、前記バック本体と接する稜線を形成する側の辺が対向する他の一辺よりも短い略台形状に形成され、且つ、上記稜線を形成する側の辺における端部は、前記ヒンジ蓋における上記バック本体との共有部が規定される面との間に変位可能に形成された所望の隙間を介して配置されていることを特徴とする請求項1記載のヒンジ蓋付パッケージ。

【図面の簡単な説明】

2

*【図1】この考案の一実施例であるヒンジ蓋付パッケージを示す概略斜視図。

【図2】図1に示されているヒンジ蓋付パッケージの展開図。

【図3】図1に示されているパッケージのヒンジ蓋に配置されている押圧部材の特徴を示す平面図。

【図4】図3に示されている押圧部材とパッケージが閉じられた状態の接触状態を示す概略図。

【図5】図3に示されている押圧部材とパッケージが開放される途中の状態での接触状態を示す概略図。

【図6】従来から利用されているヒンジ蓋付パッケージを示す概略図。

【図7】パッケージのヒンジ蓋をロックするための従来技術を示す概略図。

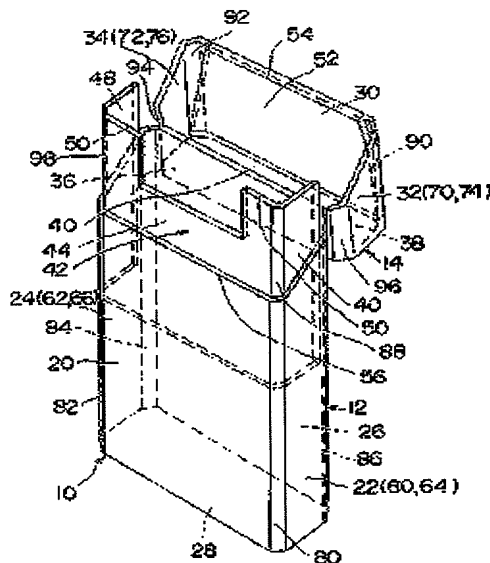
【図8】パッケージのヒンジ蓋をロックするための従来技術を示す概略図。

【図9】パッケージのヒンジ蓋をロックするための従来技術を示す概略図。

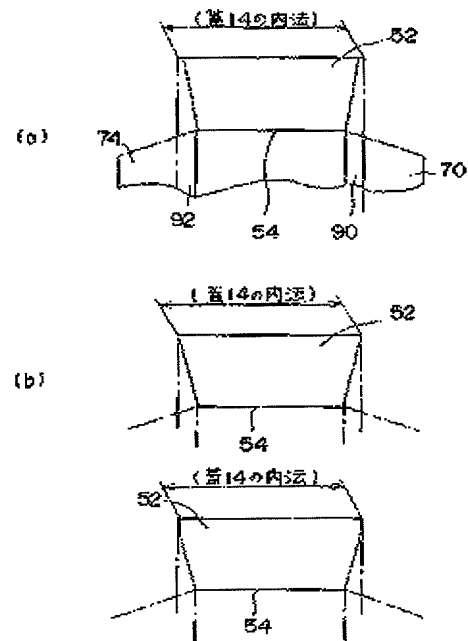
【符号の説明】

10…ヒンジ蓋付パッケージ、12…パッケージ本体、14…ヒンジ蓋、20…前壁、22、24…側壁、26…後壁、28…底壁、30…蓋前壁、32、34…蓋側壁、36…蓋後壁、38…蓋上壁、40…折曲げ線、42…インナーフレーム、44…インナーフレーム前壁、46、48…インナーフレーム側壁、50…摺擦部、52…押圧部。

【図1】



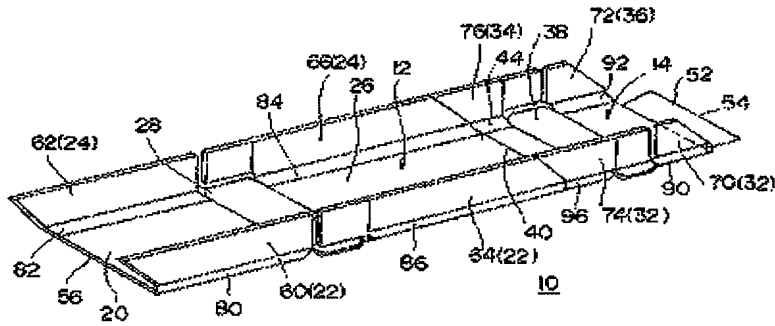
【図3】



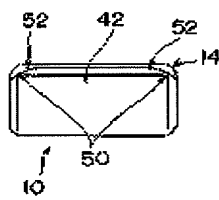
(3)

実開平5-54247

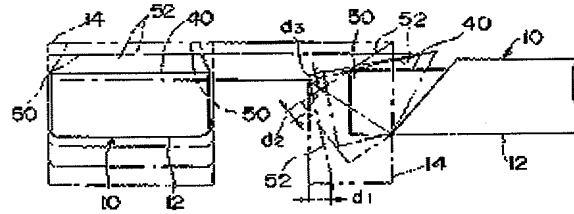
【図2】



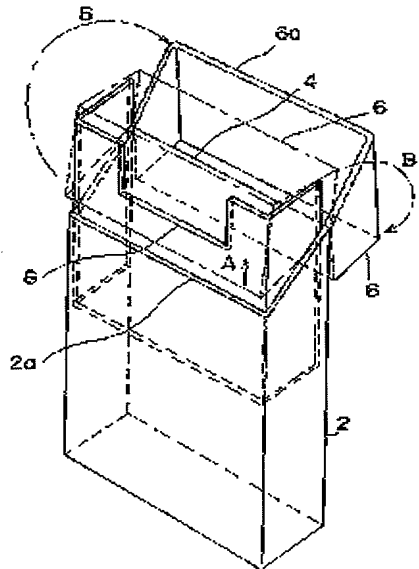
【図4】



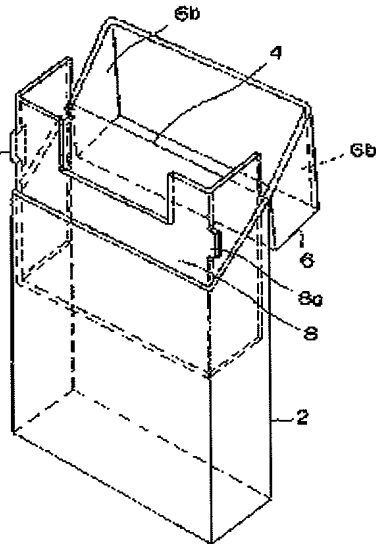
【図5】



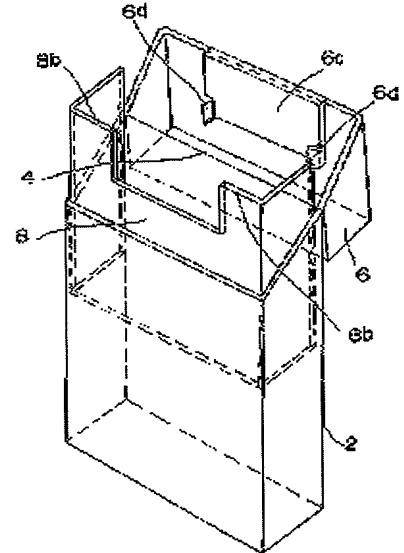
【図6】



【図7】



【図8】



(4)

実開平5-54247

【図9】

